

# 宇都宮の環境（令和4年度版 環境状況報告書）【概要版】

## 1 第3次宇都宮市環境基本計画の概要

### (1) 計画の位置づけ

宇都宮市環境基本計画は、宇都宮市環境基本条例に基づく環境行政上の総合計画となります。

また、第6次宇都宮市総合計画の分野別計画「産業・環境の未来都市の実現に向けて」の基本施策「環境への負荷を低減する」を実現するための計画としても位置付けられており、本市のさまざまな行政分野と連携しながら総合的・分野横断的に取り組みます。

### (2) 環境都市の姿

本計画では、SDGsの理念などを踏まえ、令和2年3月に「環境未来都市 うつのみや」を目指すことを宣言しました。「環境未来都市」とは、次のような社会を実現した都市をいいます。

#### 【環境未来都市】

- ① 地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しない脱炭素社会
- ② 「もったいない」のところでひとやものを大切にする循環型社会
- ③ 環境、経済、社会の統合的な向上が図られた持続可能なまち

### (3) 計画期間

平成28（2016）年度から令和7（2025）年度

【前期】 平成28（2016）年度 から 令和2（2020）年度

【後期】 令和3（2021）年度 から 令和7（2025）年度

## 2 分野別施策の施策指標の評価について

### (1) 施策指標の評価について

第3次宇都宮市環境基本計画（後期計画）において、分野別の基本施策に基づき設定している施策指標について、令和3年度は、そのほとんどがA評価またはB評価となりました。一方で、一部の施策指標については、C評価や評価不能となったことから、その要因について分析し、適切に対応していく必要があります。

#### 【施策指標の評価基準】

評価	順調 (A)	概ね順調 (B)	やや遅れ (C)	評価不能
達成度 (評価基準)	100%以上	70%以上 100%未満	70%未満	主としてコロナの影響により、進捗状況を評価することが困難な事業

#### 【施策指標についての評価（令和3年度実績）】

分野	評価			
	A	B	C	評価不能
地球環境	4	3	1	0
廃棄物	5	0	0	1
自然環境	3	3	1	0
生活環境	3	4	1	0
人づくり	0	4	0	2
合計	15	14	3	3

### (2) 構成事業の評価について

第3次宇都宮市環境基本計画（後期計画）では、各分野の基本施策に基づき全168構成事業を掲げ、各種事業を推進していますが、令和3年度については、6構成事業を除き、事業の進捗の評価は「計画どおり」となりました。

この6構成事業（自然環境分野2、人づくり分野4）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントや講座等が中止となり、年間のスケジュールどおりとならなかったことから、事業の進捗は、「コロナの影響による変更」となりました。

#### 【構成事業についての評価（令和3年度実績）】

評価	計画以上	計画どおり	やや遅れ	コロナの影響による変更
構成事業 (全168事業)	0	162	0	6 (自然環境分野2) (人づくり分野4)

## 【分野 1 地球環境】

基本施策 施策指標	施策指標					構成事業	総合評価
	(令和元年度) R1 (基準年)	(令和2年度) R2 (実績値)	(令和3年度) R3 (実績値)	(令和3年度) R3 (参考値)	(令和3年度) R3 (評価)	(令和3年度) R3 (評価)	(令和3年度) R3 (評価)
1-1-1 【施策指標】 家庭における低炭素化の促進 市民1人当たりの温室効果ガス排出量(年)	3.58t-CO2(H30)	3.19(R1)	3.11(R2)	3.16(R2)	A 100%以上	B	順調
1-1-2 【施策指標】 事業所における低炭素化の促進 事業者の温室効果ガス排出量(年)	223.6万t-CO2(H30)	219.7(R1)	208.2(R2)	210(R2)	A 100%以上	B	順調
1-1-3 【施策指標】 市役所における低炭素化の促進 市有施設における温室効果ガス排出量(年)	91,874t-CO2	84,379	82,552	86,683	A 100%以上	B	順調
1-2-1 【施策指標】 創エネルギー・蓄エネルギーの普及促進 太陽光発電設備導入世帯数(累計)	17,957世帯	18,902	19,821	19,971	B 99%	B	概ね順調
1-2-2 【施策指標】 地域のポテンシャルを生かした新たなエネルギーの活用 冷熱エネルギーを活用した事業への参入者数(累計)	6事業者(R2)	6	8	7	A 100%以上	B	順調
1-3-1 【施策指標】 環境負荷の少ない都市整備 地域新電力による温室効果ガス削減量(累計)	0t-CO2(R2)	—	1,114	1,560	B 71%	B	概ね順調
1-3-2 【施策指標】 エコで便利な交通体系の構築 公共交通夜間人口カバー率(年)	91.9%	90.5%	90.7%	93.8%	B 96%	B	概ね順調
1-3-3 【施策指標】 気候変動への適応策の推進 適応をテーマとした出前講座等の数(年)	—	3回	1回	3回	C 33%	B	やや遅れ

### 【C評価/評価不能となった施策】

基本施策 施策指標	R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)	施策指標評価
1-3-3 気候変動への適応策の推進 【指標】適応をテーマとした出前講座等の数(年)	参考値 (目標値) —	2	3	5	7	8	10回	C 33%
C評価/評価不能の要因分析	・当該テーマに沿った希望がなく、実施機会がなかったことから、目標値を大きく下回る数値となった。							

### 【施策指標について】

地球環境分野では8施策指標を掲げておりますが、評価の内訳については、A評価4、B評価3、C評価1となりました。

施策指標「市民1人当たりの温室効果ガス排出量(年)」等の温室効果ガスの排出状況については、A評価となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が停滞したことが、少なからず影響したものと推測されます。今後は、2050年カーボンニュートラル及び新たな2030年度の削減目標の達成に向けて、より一層、温室効果ガス排出削減の強化が求められます。

### 【構成事業について】

地球環境分野では、40構成事業を掲げ、再生可能エネルギーの普及啓発等を推進していますが、令和3年度はすべての構成事業において「計画どおり」となりました。

## 【分野 2 廃棄物】

基本施策 施策指標		R1 (基準年)	R2 (実績値)	R3 (実績値)	R3 (参考値)	R3 (達成率)
2-1-1	普及啓発の推進 【施策指標】 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のダウンロード数 (累計)	26,463件	34,409	42,984	34,642	A 100%以上
2-1-2	発生抑制・再使用の促進 【施策指標】 市が実施したフードドライブの参加者(年)	121人	49	298	214	A 100%以上
2-2-1	資源循環利用の推進 【施策指標】 市が主体となって取り組む廃棄物系バイオマスの資源化量(年)	514t	947	1,075	843	A 100%以上
2-2-2	各主体による資源化の促進 【施策指標】 市民から依頼のあった分別講習会と出前講座の開催件数(年)	67回	5	11	68	評価不能 —
2-3-1	適正な収集・処分体制の推進 【施策指標】 行政収集等実施率(年)	100%	100%	100%	100%	A 100%以上
2-3-2	不法投棄の未然防止・拡大防止 【施策指標】 不法投棄の事案の解決率(年)	97.8%	—	99.5%	98.0%	A 100%以上

### 【C評価/評価不能となった施策】

基本施策 施策指標		R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)	施策指標評価
2-2-2 各主体による資源化の促進 【指標】市民から依頼のあった 分別講習会と出前講座の開催件 数(年)	目標値 (参考値)	67回	68	68	69	69	70	70回以上	評価不能
	実績値	67	5	11	/	/	/	/	
C評価/評価不能の要因分析		・新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度と比較し、開催回数が減少した。							

### 【施策指標について】

廃棄物分野では6施策指標を掲げておりますが、評価の内訳については、A評価5、B評価0、C評価0、評価不能1となりました。

「評価不能」となった「市民から依頼のあった分別講習会と出前講座の開催件数(年)」については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催回数が減少しましたが、こうした状況を踏まえ、分別講習会の動画を新たに作成し、様々な媒体を活用して配信するなど、市民に対し幅広い周知啓発を図りました。

### 【構成事業について】

廃棄物分野では、28構成事業を掲げ、生ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発や産業廃棄物排出事業者等に対する指導等を推進してはいますが、令和3年度はすべての構成事業において「計画どおり」となりました。

## 【分野3 自然環境】

基本施策 施策指標		R1 (基準年)	R2 (実績値)	R3 (実績値)	R3 (参考値)	R3 (達成率)
3-1-1	生物多様性保全に関する意識の醸成 【施策指標】 「生物多様性」の言葉の意味を知っている市民の割合(年)(生物多様性の認知度)	33.6%(R2)	33.6%	40.8%	41.9%	B 97%
3-1-2	生きものとその生息・生育環境の保全の推進 【施策指標】 外来種の影響に関する認知度(年)	64.8%(R2)	64.8%	84.9%	69.8%	A 100%以上
3-2-1	農地等の多面的機能の維持向上 【施策指標】 市内農地における環境保全活動カバー率(累計)	39.3%	38.1%	38.8%	52.9%	C 48%
3-2-2	都市の緑の保全と創出 【施策指標】 緑地保全・緑化推進に係る活動箇所数(累計)	301箇所	325	327	333	B 98%
3-2-3	水資源の確保 【施策指標】 雨水貯留施設等設置費補助件数(H28からの累計)	378件	1,129	1,298	953	A 100%以上
3-2-4	河川環境の保全と創出 【施策指標】 河川の整備率(都市河川, 準用河川)(累計)	62.4%(R2)	62.5%	63.8%	63.8%	A 100%
3-2-5	良好な景観の保全と創出 【施策指標】 景観形成重点地区等の指定数(累計)	7地区	8	8	9	B 80%

### 【C評価/評価不能となった指標】

基本施策 施策指標		R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)	施策指標評価
3-2-1 農地等の多面的機能の維持向上 【指標】市内農地における環境保全活動カバー率(累計)	参考値 (目標値)	39.3%	46.1%	52.9%	59.7%	66.4%	73.2%	80.0%	C 48%
	実績値	39.3%	38.1%	38.8%					
C評価/評価不能の要因分析		・環境保全カバー率については、新規組織が設立しなかったことや、活動面積の拡大が図られなかったことによりC評価となった。							

### 【施策指標について】

自然環境分野では7施策指標を掲げておりますが、評価の内訳については、A評価3、B評価3、C評価1となりました。

「やや遅れ」となった「市内農地における環境保全活動カバー率」については、環境保全活動を行う新規組織が設立しなかったことや、活動面積の拡大が図られなかったことが要因として考えられます。

### 【構成事業について】

自然環境分野では、53構成事業を掲げ、生物多様性保全の情報共有や河川や緑地等の整備の推進等を推進していますが、令和3年度は、一部の構成事業を除き「計画どおり」となりました。

構成事業の「水循環に関する教育の推進」や「上下水道に関する普及啓発」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の進捗が「コロナの影響による変更」となりました。

## 【分野 4 生活環境】

基本施策 施策指標		R1 (基準年)	R2 (実績値)	R3 (実績値)	R3 (参考値)	R3 (達成率)
4-1-1	大気汚染状況の監視 【施策指標】 光化学オキシダントの環境基準達成率(年)	92.7%	93.7%	94.5%	95.1%	B 99%
4-1-2	水質汚濁状況の監視 【施策指標】 河川水の生物化学的酸素要求量に係る基準達成率(年)	94.4%	88.9%	94.4%	96.3%	B 98%
4-1-3	騒音振動の調査 【施策指標】 自動車騒音に係る環境基準達成率(年)	93.8%	93.1%	94.5%	95.9%	B 98%
4-1-4	放射線や化学物質の調査 【施策指標】 ダイオキシン類の環境基準達成率(年)	100%	100%	100%	100%	A 100%以上
4-2-1	工場・事業場の監視・指導 【施策指標】 工場・事業場における排出基準超過件数(年)	6件	3	2	4	A 100%以上
4-2-2	事業者等への意識啓発 【施策指標】 良好な生活環境の確保に係る市民満足度(年)	35.7%(R2)	35.7%	39.3%	36.5%	A 100%以上
4-2-3	自動車排出ガス対策の充実 【施策指標】 電気自動車補助件数(累計)	5件	7	14	170	C 8%
4-2-4	生活排水対策の充実 【施策指標】 生活排水処理人口普及率(累計)	98.7%	99.1%	99.3%	99.4%	B 99%

### 【C評価/評価不能となった施策】

基本施策 施策指標		R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)	施策指標評価
4-2-3 自動車排出ガス対策の充実 【指標】電気自動車補助件数 (累計)	参考値 (目標値)	5件	88	170	253	335	418	500	C 8%
	実績値	5	7	14	/	/	/	/	
C評価/評価不能の要因分析		・電気自動車補助件数については、目標値から大きく下回り、C評価となった。これは、補助要件である給電性能を備えた車種が限られていることや、補助事業の周知不足等が要因として考えられる。							

### 【施策指標について】

生活環境分野では、8施策指標を掲げておりますが、評価の内訳については、A評価3、B評価4、C評価1となりました。

「やや遅れ」となった「電気自動車補助件数(累計)」については、補助要件である給電性能を備えた車種が限られていることや、補助事業の周知不足等が要因として考えられます。

### 【構成事業について】

生活環境分野では、18構成事業を掲げ、法令に基づく工場や事業場への立入検査や指導等を推進していますが、令和3年度はすべての構成事業において「計画どおり」となりました。

## 【分野5 人づくり】

基本施策 施策指標		R1 (基準年)	R2 (実績値)	R3 (実績値)	R3 (参考値)	R3 (達成率)
5-1-1	市民総ぐるみによるもったいない運動の推進 【施策指標】 もったいない運動の認知度(年)	48.9%	—	43.4%	52.6%	B 82%
5-1-2	もったいない運動を取り入れたイベントの開催 【施策指標】 もったいない運動を取り入れたイベントの割合 (年)	100%	—	—	100%	評価不能 —
5-2-1	環境学習の場と機会の提供 【施策指標】 環境学習センター開催講座の平均満足度(年)	83.2%	87.0%	87.1%	88.8%	B 98%
5-2-2	地域における環境保全活動を担う人材の育成 【施策指標】 環境出前講座開催数	42回	18	32	43	B 74%
5-3-1	各主体による環境配慮行動の推進 【施策指標】 もったいない運動の実践率(年)	32.0%	—	24.9%	41.3%	B 74%
5-3-2	多様な活動主体間の連携促進 【施策指標】 環境学習センターの利用件数(年)	887件	508	549	888	評価不能 —

### 【C評価/評価不能となった施策】

基本施策 施策指標		R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)	施策指標評価
5-1-2 もったいない運動を取り入れた イベントの開催 【指標】もったいない運動を取り 入れたイベントの割合(年)	目標値 (参考値)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%を維持	評価不能
	実績値	100%	—	—	/	/	/	/	
C評価/評価不能の要因分析		・新型コロナウイルス感染症の影響により、「もったいないフェア」を含め多くのイベントが中止となったことから、催事と連携した普及啓発活動が実施できなかった。							

基本施策 施策指標		R1 (基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)	施策指標評価
5-3-2 多様な活動主体間の連携促進 【指標】環境学習センターの利 用件数(年)	目標値 (参考値)	887件	888	888	889	889	890	890	評価不能
	実績値	887	508	549	/	/	/	/	
C評価/評価不能の要因分析		・新型コロナウイルス感染症対策に伴う休館の実施があったほか、主な施設利用者が高齢者であることから外出を控える傾向が強かった。							

### 【施策指標について】

人づくり分野では6施策指標を掲げておりますが、評価の内訳については、A評価0、B評価4、C評価0、評価不能2となりました。

多くの基本施策において新型コロナウイルスの影響を受けていることから、今後は、感染状況や新しい生活様式を踏まえたうえで、より効果的な実施方法等について検討する必要があります。

### 【構成事業について】

人づくり分野では、29構成事業を掲げ、市民総ぐるみによる「もったいない運動」の取組や、環境学習の場と機会の提供等を推進していますが、令和3年度は、一部の構成事業を除き「計画どおり」となりました。

構成事業の「もったいないフェア」など環境配慮型イベントの実施等の4事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の進捗が「コロナの影響による変更」となりました。